

## 令和4年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	関西国際大学、神戸芸術工科大学、宮崎国際大学	主な交流先	英国・インド・オーストラリア
事 業 名	産学官連携ベンチャー・エコ・システム創成による起業家育成カリキュラムの展開		
海 外 の 相 手 校	キール大学、デリー大学サウスキャンパス、シドニーアントレプレナーシップ、西シドニー大学、バンクーバーアイランド大学		

### 〔評価コメント〕

本事業計画は、起業家精神育成を柱とするカリキュラム改訂、海外大学とのコンソーシアム参加の実施、大学間ネットワークの形成、海外大学と国際共同教育の実践等の実績をふまえつつさらなる展開を図ろうとする意欲的な取組である。

外国人学生の受入・日本人学生の派遣に関して、各種の危機管理システムの整備、グローバル教育センターを中心とした体制の整備、神戸市や関西経済同友会等との連携等、起業人材育成に向けた体制整備を図ったうえで実施する計画になっており、高く評価できる。また、厳格な成績管理、単位の実質化や事業の進捗評価を含む各項目での評価システムについても考慮されており、学生が意欲を持って学べるように支援しようとする意欲が評価できる。

一方で、本事業で育成する「国際的イノベーター」の人材像について、起業家マインドを持って、「多文化共生意識」を保持し、「グローバルな視点を持ち国際的な課題を解決しうる中核人材」と説明されているが、国際的イノベーターの社会的ニーズがどこに、どの程度あるのか、同意識・マインドが国際的課題の解決やベンチャー・エコ・システム創成にどのようにつながるのか等は十分に明瞭になっているとは言えない。これらの点は本事業計画のコアになる部分とも考えられるだけに、明瞭化に向けて一層の検討が望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。また、本事業は、補助期間終了後は自立的に事業を継続することが前提とされていることから、継続的かつ発展的に質保証を伴った事業を展開されたい。